

トライ!

日和田小学校 第5学年
学年だより 第17号
令和4年6月15日発行

こんなご意見をいただきました。

家庭学習に関して、保護者の方から、こんなご意見をいただきましたので、お答えします。

「漢字ドリルを早いペースで一気に進んでいるようですが、このペースでは子どもが覚えられないのではないのでしょうか？」

＜回答＞

漢字ドリルは6月末には、全部一度終えることができるように進めています。もちろん、一度やったからといって、すべて定着するとは思っておりません。まず一度ドリルに取り組むことで、覚えにくい漢字、間違えた漢字が明確になってきます。次は、それらの覚えにくい漢字や間違えた漢字を中心に取り組みます。もともと「ドリル学習」というのは反復してものごとを覚えていく学習法を指すようです。繰り返し行うだけでなく、自分の苦手を意識しながら学習することで、より深く理解することができるようにしたいと考えています。



「自主学習、本当に子どものためになっているのでしょうか。まだ自分で課題を見つけて取り組むには年齢が早いのでは?? プリント学習をもっと多くやらせた方がよいのでは??」

＜回答＞

ご指摘のとおり、お子様によっては、まだまだ自分のためになっていない自主学習も見受けられます。そうであれば、プリントを宿題としてたくさん出したほうがよいのか?・・・

あくまで、プリントは自分の課題を見つけるためのツールだと考えています。ひたすらプリント学習に取り組むというのは、見かけ上は学習をやっているように見えますが、分からないことを分かるようにする「学び」につながらないように思います。



自主学習を始める年齢が早いのでは?というご指摘に関して・・・

中学生になれば、自分自身で課題を見つけ、取り組めるようになるか?中学生になれば、定期テスト等で順位が示されたり高校受験があったりと現実的な壁が出てきて、とにかく結果を出さなければいけないという状況が強くなってくるのではないかと。そんな時に、学び方を身につけている子、とそうでない子では大きな差が出てくると考えています。

そう考えたとき、私たちは現在の小学生の高学年が最適な時期だと思っています。ただ、もちろん個人差はありますので、個々に応じた言葉かけをしていきたいと思っています。

今後、より充実した自主学習にするために、「ぐるぐる交換自学」という取り組みを計画しております。準備が整いましたら、またお知らせいたします。

貴重なご意見ありがとうございました。年度当初にもお伝えしたとおり、教師として信念をもってお子様の指導に当たらせていただいておりますが、我々が絶対とは思っておりません。お子様のよりよい成長には、教師と保護者の協力が不可欠だと思っております。今回のように、不安に思っていることなどありましたら、いつでもご連絡いただければと思います。ご意見を真摯に受け止め、今回のように考え方をお示ししたり、改善したりしていきたいと思っています。

